

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原駅前計画 新築工事	階数	地上15F
建設地	相模原市中央区相模原四丁目303番1の一部,303番29の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	476 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年11月 予定	評価の実施日	2025年4月8日
敷地面積	1,625 m ²	作成者	新日本建設株式会社
建築面積	723 m ²	確認日	2025年4月8日
延床面積	8,979 m ²	確認者	新日本建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q1 室内環境 (スコア: 3.5)</p> <p>Q2 サービス性能 (スコア: 3.0)</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 2.8)</p> <p>LR1 エネルギー (スコア: 2.5)</p> <p>LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.1)</p> <p>LR3 敷地外環境 (スコア: 3.0)</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>日本住宅性能表示基準 断熱等性能等級4性能を有し、エコジョーズを導入するなど省エネルギーに配慮している。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>日本住宅性能表示基準 断熱等性能等級4の性能を有し、外皮性能に配慮。建築材料は、F☆☆☆☆を全面的に使用し、室内空気環境に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>躯体は劣化対策等級3相当とし、更新間隔の長い室内仕上げや耐用年数の長い配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>広場を設け、都市空間の活動上のアメニティ向上に貢献している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>エコジョーズを採用することで省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される